

2017  
11/29 WED

13:30-17:10

13:00 開場 参加費無料

北とぴあ つつじホール

JR 京浜東北線 王子駅 徒歩2分  
東京メトロ 南北線 王子駅 直結

車・自転車での来館は、収容台数に限りがございますので、  
できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

定員: 350名 【要事前参加登録】  
定員に達し次第、受付を終了します。

## PROGRAM プログラム

主催者挨拶… 菱山 豊  
日本医療研究開発機構 理事

来賓挨拶… 塚本 圭二  
文部科学省 科学技術・学術政策局  
人材政策課 研究公正推進室 室長

13:50-14:50

講演 1  
研究倫理をどのように教えるか  
- 技術者倫理教育の視点から -  
片倉 啓雄 関西大学  
化学生命工学部 教授

14:50-15:30

講演 2  
チュートリアル形式での研究倫理  
教育の試み  
西川 祐司 旭川医科大学 教授

15:45-16:25

講演 3  
自発的な研究公正への意識付けをどう養うか  
- 「健全な」研究公正の実現に向けて -  
岡林 浩嗣 筑波大学  
生命領域学際研究センター 講師

16:25-17:05

講師と参加者による  
フリーディスカッション  
中堅研究者に「考え、気づかせる」には  
どうしたらいいか

閉会挨拶… 中村 賢司  
日本医療研究開発機構  
研究公正・法務部 部長

# 「考え、気づかせる」研究倫理教育

研究公正シンポジウム  RIO ネットワーク オフライン キックオフシンポジウム

これまでの研究倫理教育は、ガイドラインの解説や罰則等の周知、過去の研究不正事例の紹介など、研究不正防止に関連する知識を習得させる座学が中心でした。

ところで、研究とは世の中になく新しい成果を生み出していくものですので、研究者は法令・ガイドライン・学会等の規範などの趣旨を理解した上で自律した判断が求められる場合が少なくありません。

そのためには、「研究倫理教育において「考え、気づかせる」倫理教育を行い自律的な行動がとれるようにすることが重要です。」

本シンポジウムでは、この「考え、気づかせる」研究倫理教育について紹介します。

お問い合わせ先

研究公正シンポジウム運営事務局

☎ 03-5362-0117

📠 03-5362-0121  
平日 9:30-18:00 (12:00-13:00を除く)

✉ rionetwork2017@omc.co.jp

 RIO NETWORK  
BY AMED

お申し込みはこちらから  
rionetwork2017@omc.co.jp



主催  国立研究開発法人 日本医療研究開発機構  
Japan Agency for Medical Research and Development

共催  JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE  
日本学術振興会  国立研究開発法人 科学技術振興機構  
Japan Science and Technology Agency

文部科学省研究公正推進事業